

令和2年度
(令和3年度入試用)

進路のてびき 2

令和2年10月

渋谷区立上原中学校

3 年 組 番	氏 名	
---------	-----	--

目 次

令和2年度後期 『進路指導の予定と家庭での準備』

	1 (ページ)
I. 進路決定の時期を迎えて	2～5
1. 具体的な進路決定へ	2
2. 志望校を選ぶ	3
3. 進路選択に関する判断の時期	4
4. 志望校決定から入学手続きまで	4
5. 入試のシミュレーション	5
II. 東京都立高校入学者選抜について	6～18
1. 都立高校入試の流れ	6
2. 都立高校の応募資格	7
3. 推薦に基づく選抜	7～9
4. 学力検査に基づく選抜(第一次募集・分割前期募集)	10～14
5. 学力検査に基づく選抜(分割後期募集・第二次募集)	15
6. デュアルシステム科について	16
7. 定時制課程単位制高校について	16
8. 都立国際高校の国際バカロレアコースについて	16
9. インフルエンザ等学校感染症罹患者に対する追検査	17
10. 都立入試の注意事項	18
III. 私立高等学校入学者選抜について	19
1. 推薦入試	19
2. 併願推薦	20
3. 一般入試	20
IV. 国立高等学校について	21
V. 高校以外の進路について	21
VI. 資料編	22～27
1. 都立高校の出願についての注意事項	22, 23
2. 調査書の記入例	24
3. 都立入学願書	25
4. 合格通知書	26
5. 入学確約書	27
6. 学力検査における開示請求	28.

令和2年度後期 『進路指導の予定と家庭での準備』

	学校行事等	進路関係	家庭での準備
10月	前期終業式 10/7(水) 秋季休業日 10/8(木)～11(日) 後期始業式 10/12(月) 体育祭 10/24(土)	第2回進路説明会 10/3(土) →「進路のてびき2」配付 第2回復習確認テスト 10/17(木)	・高校の文化祭や見学会、入試説明会等が多数開催される。志望候補の学校へ出かけて、最新の募集要項など入手し、情報を収集する。 ◆志望校の入試過去問題集を入手し、実戦的な学力を養成する。 ・推薦・推薦併願・一般受験や志望順位などを具体的に考える。試験日程も考慮して志望校を絞り込み、受験の計画を立ててみる。
11月	三者面談(3年のみ) 10/29(木)～11/6(金) 後期中間テスト 11/13(金),14(土)	「東京都立高等学校等募集案内」配布 第2回三者面談 10/29(木)～11/6(金) 第4回進路希望調査	◆後期中間テストの準備勉強に集中する。中間テストがない教科でも、実技テストや提出物などで最善を尽くす。 ・私立や都立の推薦受験や一般受験について具体的な計画を立て、出願校を決める。
12月	三者面談(全校) 11/30(月)～4(金) 冬季休業始 12/26(土)	調査書記載事項内容調査 第3回三者面談(最終回) 11/30(月)～4(金) 私立入試相談(教員対象) 12/15(金)～	・出願校を最終決定 ・中学校長に推薦依頼や調査書作成願を提出 ・自己PRカード作成練習、面接準備と練習 ◆総まとめ・弱点の克服
1月	授業開始 1/8(金) 学習発表会(展示) 1/21(木)～23(土)	都立推薦・高専出願(郵送) 1/12(火) 私立推薦出願 1/15(金)～ 私立推薦入試・発表 1/22(金)～ 私立一般出願 1/25(月)～ 都立推薦入試 1/26(火)27(水) 都立高専推薦入試 1/27(水)	・私立推薦出願(期日が限られている) ・私立推薦受験(面接等)・発表・手続 ・都立推薦出願(高専も同日程) ・都内私立一般出願(近県の私立は別) ・都立推薦(検査開始時刻は出願時に通知)
2月	後期期末テスト 2/26(金)～2/27(土)	都立推薦・高専発表・手続 2/2(火) 都立一次(分割前期・高専)出願(郵送) 1/29(金)～2/4(木) 私立一般入試・発表・手続 2/10(水)～ 都立一次願書取り下げ・再提出 2/12(金) 都立一次願書再提出 2/15(月) 都立高専学力検査 2/16(火) 都立高専発表・手続 2/19(金) 都立一次学力検査 2/21(日)	・都立推薦発表・手続 ・都立一次(分割前期・高専)出願 *都立と高専は別日程 ・私立受験・発表・手続 *取り下げ・再提出は、必要に応じて ・都立一次(分割前期)受検
3月	普通救急救命講習 3/9(月) 修学旅行 3/12(金)～14(日) 卒業式予行 3/17(水) 卒業式準備 3/18(木) 第71回卒業式 3/19(金)	都立一次発表・手続 3/2(火)3(水) ※私立二次募集(各学校の事情に応じて) 都立二次(分割後期)出願(持参) 3/5(金) 都立二次願書取り下げ 3/8(月) 都立二次願書再提出 3/9(火) 都立二次学力検査 3/10(水) 都立二次発表・手続 3/16(火)17(水)	・都立一次(分割前期)発表・手続 ・都立二次(分割後期)出願 (以下、分割後期は二次と連動) ・都立二次(分割後期)受検 ・都立二次(分割後期)発表・手続

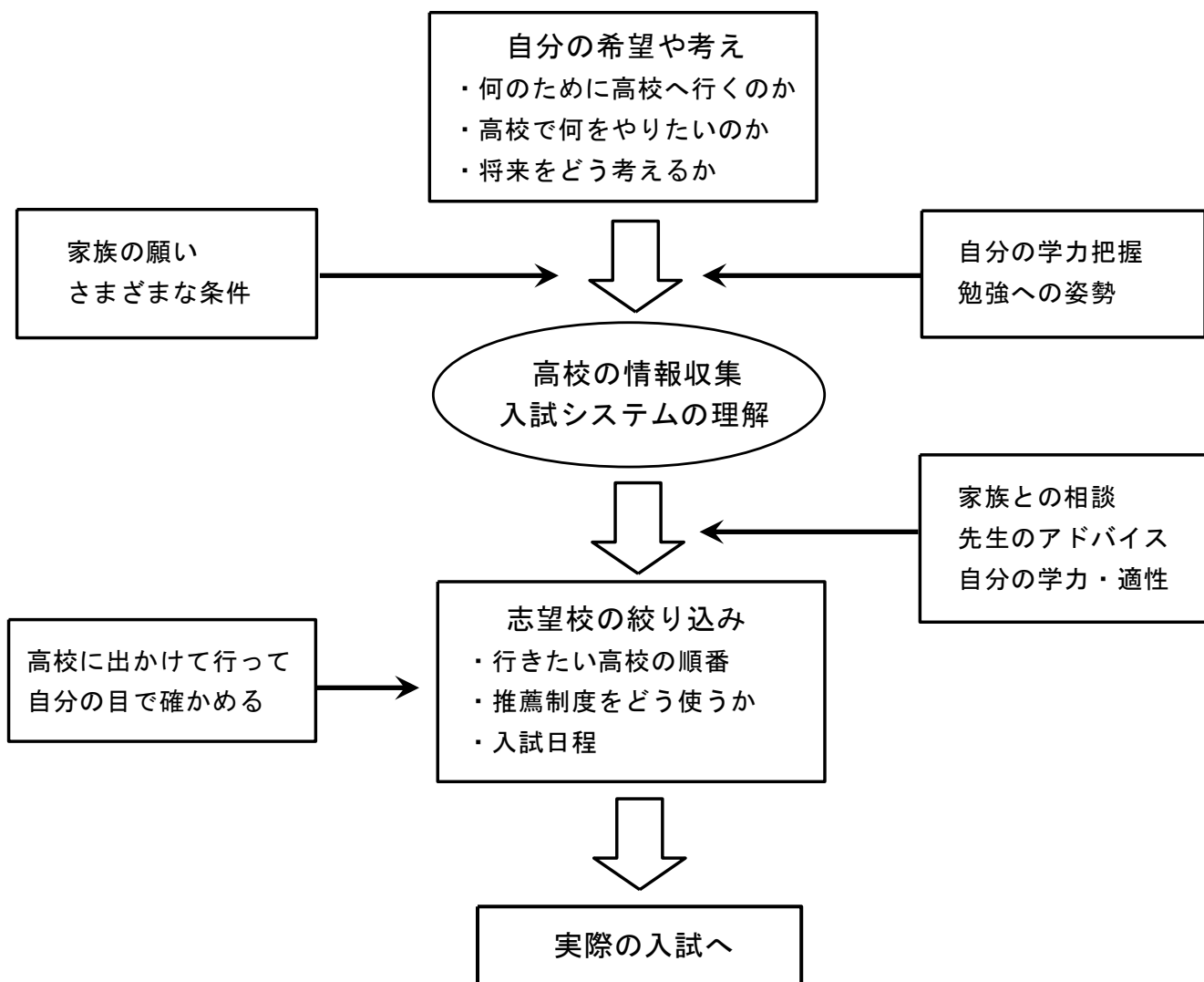
I 進路決定の時期を迎えて

第一回進路説明会で配布した「進路のてびき1」では、進路を考える上で大切なことや進路に関する予定、進学先や就職先の種類、入学選抜方法のあらまし、奨学金制度などについて述べました。この「進路のてびき2」では、9月末までに明らかになった来春（令和3年度）の入試についての最新情報をもとに、具体的な入試制度の説明や進路に関する情報の入手方法、進路選択から決定にいたるまでの具体的な筋道などについて述べます。

1 具体的な進路決定へ

いよいよ具体的な進路決定の時期となりました。ここまで、高校や入試について、いろいろ考えたり調べたり、家の人と話し合ってきたことと思います。さまざまな情報が入ってきて、逆に混乱してしまっているかも知れません。

ここでもう一度、進路決定までの流れを確認しておきましょう。



上の図のように、進路の決定までにはさまざまなことを考慮しなければなりません。後期に入り、これから段階的にこのようなことを考えていくことになります。具体的に、いつ頃までにどのような準備をすればよいかを、前ページの『進路指導の予定と家庭での準備』に示しました。高校入試では、きちんとスケジュールが決められているので、それを守らなければなりません。このことを第一に頭に入れておいて下さい。

さまざまな条件の中で、自分を最も活かせる進路を選択すること。それは、ただ「あの高校に入りたい」というだけでは済みません。保護者や先生の意見はどうか、合格の可能性はどうか、もし不合格ならどうするかなど、あらゆる方向から考えることが必要です。それは、大人への大きな一歩となることでしょう。

2 志望校を選ぶ

現段階で、すでにいくつかの志望校名があがっていることと思います。これからは、それらの学校を比較検討し、さらに新たな学校を加えながら、志望校を絞り込んでいくことになります。

比較検討する内容や条件は、それぞれの家庭で違うでしょう。志望校選択に際して何を重視するか、この点も重要なポイントです。さまざまな資料を参考にするとともに、最終的には必ず本人と保護者が足を運び、自分の目で確認することが大切です。

次のような表をつくって、比較検討してみるのも良いでしょう。

学校名				
通学時間				
授業内容				
部活動				
進路・進学				
雰囲気				
制服・生活				
施設・設備				
特色				
授業料・経費				
入試の難易度				
志望順位				

3 進路選択に関する判断の時期

行きたい高校がいくつもある。どの高校を受験しようか迷う。推薦入試に挑戦しようかどうしようか。両方受験したいが入試日が同じだ・・・等々、入試に迷いはつきものです。しかし、いつまでも迷っているわけにはいきません。いつまでに何を決めればよいかを、スケジュール表を見ながら考えておく必要があります。

原則的な内容は次の通りです。

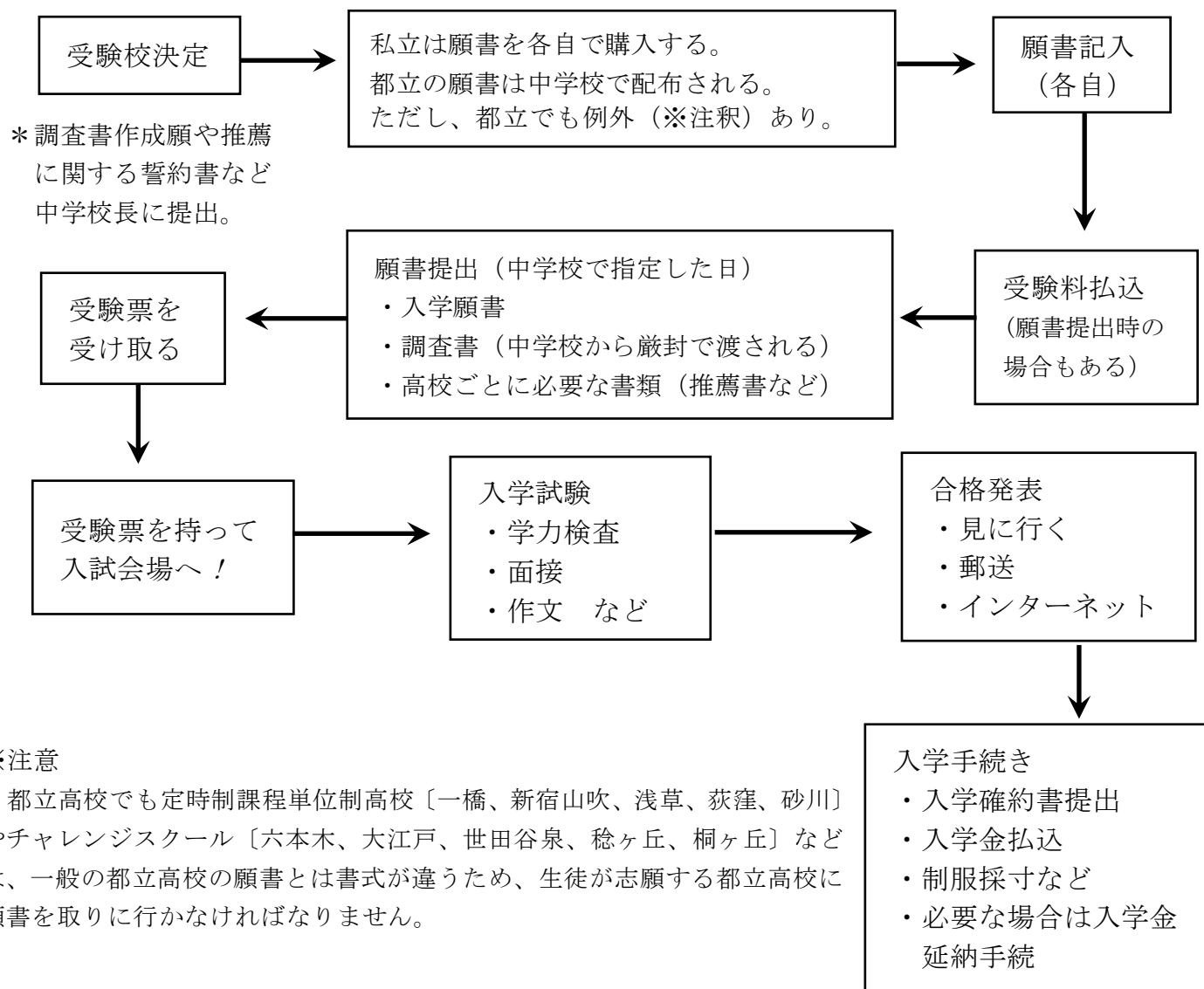
(1) 受験校（私立の一般受験）および推薦制度（併願優遇含む）の最終決定は、基本的に12月の三者面談時期とします。

* 煩雑な事務手続を、間違いなく確実にを行うための期限です。

(2) 12月の三者面談以降、私立の推薦・併願優遇については変更できません。

実際にはさまざまなケースが生じてくるので、学年の教員にご相談下さい。

4 志望校決定から入学手続きまで



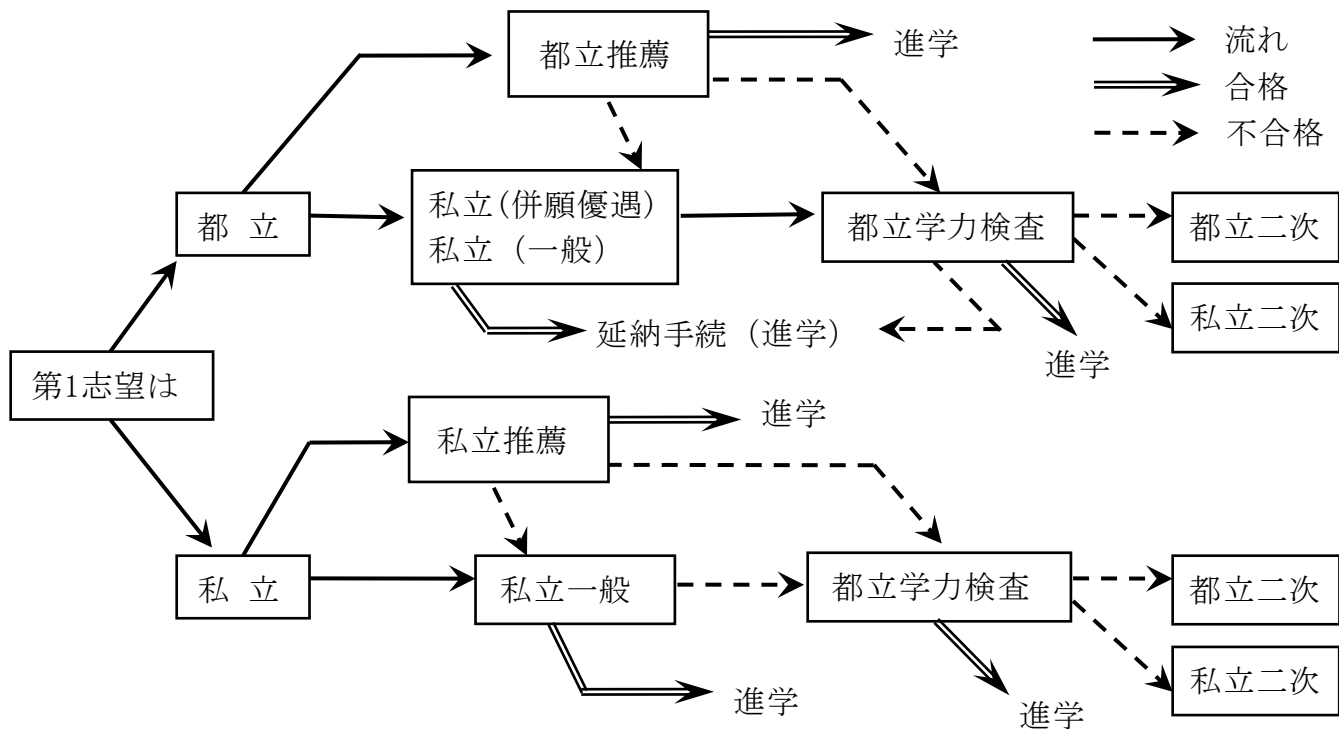
5 入試のシミュレーション

都立が第1志望で私立が第2志望、この高校が不合格だったらこの高校、2～3校受験してその結果で考えるなど、いくつかの高校を組み合わせた受験を考えていることでしょう。下の図は、入試のシミュレーション（模擬的な試行）をするためのものです。自分の受験計画を立てるときの参考になります。この流れをよく考えて、志望の順位を決め、私立一般を複数受験する場合は入試日を確認、推薦制度を使うかどうかを決め、具体的な学校名を当てはめて、さまざまなケースを考えてみましょう。

基本的には、次のような手順で考えるとわかりやすいと思います。

- ① 都立を第1志望とするか私立を第1志望とするかを決める
- ② 都立が第1志望でも、私立だったらここ、と私立の第1志望校を考える
- ③ 優先順位が決まったら、推薦や併願優遇で受験するかどうかを決める
- ④ それぞれ合格だった場合、不合格だった場合、どうするかを考えていく
- ⑤ ただし、私立についても都立についても、推薦で合格した場合は必ず入学すること

ここで、「第1志望」と「推薦」の考え方が重要です。「推薦で合格できるのなら」という気持ちの第1志望なのか、「何があってもこの高校」という第1志望なのかで変わってきます。また、第1志望以上に第2志望を真剣に考えることも大切でしょう。



- ・入試日程の順序を考え、どのような順序でどこどこを受験するかを考えます。
- ・入試日程は、私立推薦→都立推薦→私立一般→都立一般（学力検査）の順です。
- ・第1志望校が決まったら、推薦を受けるか受けないかを決めます。
- ・私立も都立も、「推薦」とは「第1志望」であるということなので、推薦で合格したら必ず入学することとなり、他校は受験できません。
- ・一般の場合は、私立一般で合格しても、都立一般の結果を見てから入学するかどうかを決めることができます。ただし、私立高校の入学金の納付期限や延納の手続きなどを確認する必要があります（手続きをすれば都立合格発表まで待ってくれる高校が多いですが、そうでない私立もあります）。
- ・都立一般は、願書を提出しても、一度だけ受験校を変更することができます。

Ⅱ 東京都立高等学校入学者選抜について

1 都立高校入試の流れ

都立高校の入試には、推薦、第一次募集（分割前期）、第二次募集（分割後期）の3つの段階があります。

(1) 推薦に基づく選抜（※この冊子の中では「都立推薦」「推薦入試」と呼ぶこともあります。）

学力検査を行わず、調査書、面接、作文、自己PRカード、その他各高校が独自に決めた内容と基準で選抜を行うものです。募集人員の一部（学科によって募集人員に対する対象人員枠の割合は20%～50%と異なります）を合格者として選びます。推薦で合格したらすぐに入学手続きをし、私立を含め他の高校を受験することはできません。例年、たいへんな高倍率となり、狭き門ですが、推薦で不合格でも同じ都立高校をこの後の「学力検査に基づく選抜」（都立一次）で受検することができます。

(2) 学力検査に基づく選抜（第一次募集・分割前期募集）（※この冊子の中では「都立一般」「一般入試」または「第一次募集」「都立1次」「分割前期」と呼ぶこともあります。）

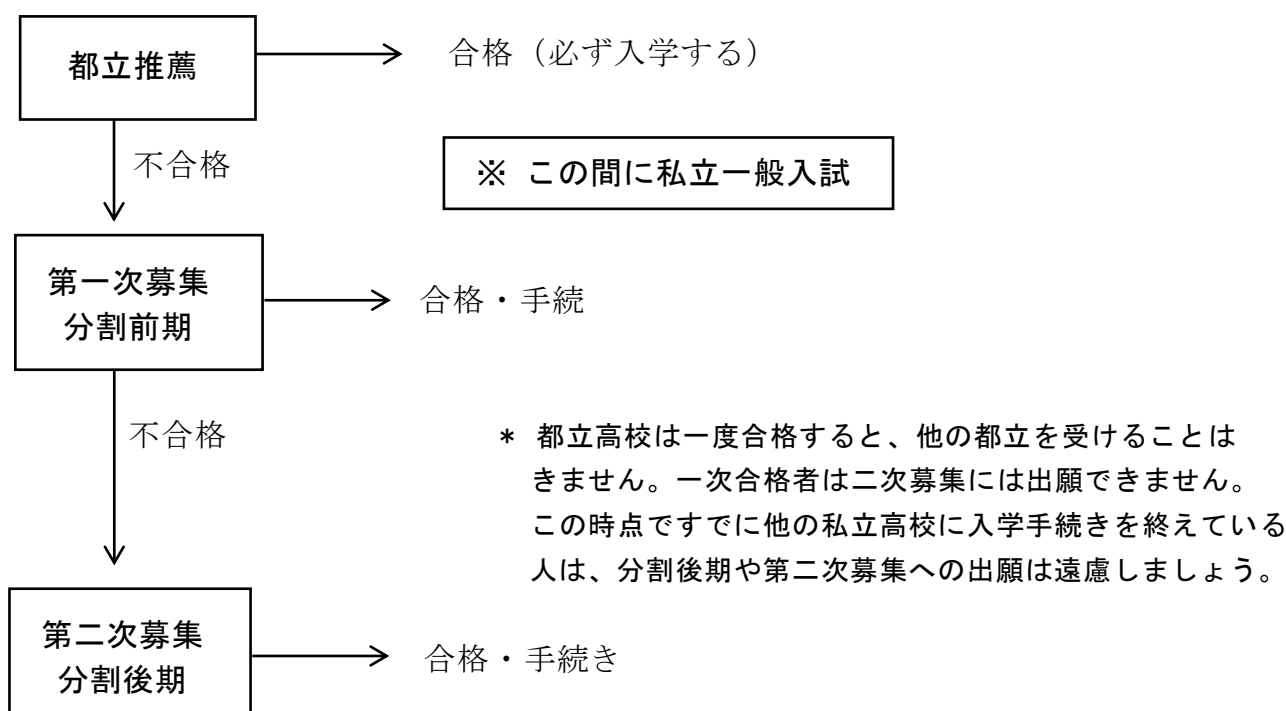
いわゆる都立の一般入試です。学力検査や調査書を点数化して選抜が行われます。一部の学校では、学力検査や調査書に加えて面接や作文、実技検査の結果なども点数化されます。最初から定員を分割して募集する場合は「分割前期」とも呼ばれます。合格しても入学するかしないかは選択できますが、合格した場合は、この後実施される都立の第二次募集を受けることはできません。

(3) 学力検査に基づく選抜（分割後期募集・第二次募集）

（※この冊子の中では「分割後期」や「第二次募集」「都立二次」と呼ぶこともあります。）

あらかじめ定員を分割して募集する「分割後期」の高校と、第一次募集で定員に満たなかった高校だけが実施します。第一次募集と第二次募集とは、同じ高校でも学力試験の内容や調査書の配点、面接の有無などが変わってくるので注意が必要です。また、第一次募集で定員に満たない高校というのは数が非常に少なく、募集人数も一ケタ程度で、たいへんな高倍率になります。

都立高校のポイントは、それぞれの段階ですべて受検日が同じために、1校しか選べないというところです。第1志望校が都立ならば勝負を賭けるか、確実に合格できる都立を押さえるか、また、私立高校との兼ね合いなどを考えます。



2 都立高校の応募資格（全日制の学力検査に基づく選抜の場合より一部抜粋）

- (1) 令和3年3月に東京都内の中学校を卒業する見込みの者
- (2) 中学校を卒業した者
- (3) 保護者と同居している者で、令和2年12月31日に都内に住所を有し、入学後も引き続き都内から通学することが確実な者
- (4) 何らかの理由で上記の条件に当てはまらない場合でも、別に定める条件をみたせば、具申書等を提出することによって応募することができる

3 推薦に基づく選抜（一般推薦および文化・スポーツ等特別推薦）

(1) 推薦入試について

推薦入試（正式には「推薦に基づく選抜」）では、中学校長の推薦に基づき、調査書、自己PRカード、面接、その高校独自の内容（小論文、作文、実技検査など）により、総合的に判断して合格者を選びます。学力検査は行わず、学力検査では評価しにくい本人の意欲、適性、能力などを評価しようという趣旨です。「一般推薦」のほか、学校によっては、「文化・スポーツ等特別推薦」も実施します。

(2) 日程

事 項	日	時
出 願	令和3年1月12日(火)から1月15日(金)まで 郵送（上記出願受付期間に、都立高校が指定する郵便局に必着（郵便局留）により受付	
面接・実技検査等	令和3年1月26日(火) (ただし、1月27日(水)に実技検査等を実施する高校もある。)	
合格者の発表	令和3年2月2日(火)	午前9時
入学手続	令和3年2月2日(火) 2月3日(水)	午前9時～午後3時 午前9時～正午

(3) 推薦基準

推薦入試については、各高校で「推薦基準」を定めており、その基準を満たしていることが受検の条件となります。都立高校の推薦基準は私立の推薦基準とは異なり、具体的な成績の数値などはありませんが、推薦書や自己PRカード、面接、作文などで基準に合っているかどうかを試されることです。

推薦基準は高校によって違いますが、一例を挙げると下記のような内容です。

本校の教育方針をよく理解し自己を向上させる努力のできる者で、かつ次のア～エのすべてに該当する者。

- ア 本校志望の意志が固く、高校生活に対して明確な目的意識をもっている者。
- イ 出席状況が良好で、基本的な生活習慣が身に付いている者。
- ウ 自ら学ぶ意欲が旺盛で、中学校での学習成績が特に良好な者。
- エ 生徒会活動や部活動、学校行事などに積極的に参加し、貢献したと認められる者。

以上は高校側の基準ですが、推薦入試は「人物的に保証できるので推薦します」ということですから、推薦入試の受検者は中学校側が人物的に責任を持って推薦した生徒であるということになります。最終的には中学校長が「責任を持って推薦する」という印を押すことになりますので、生徒の方も責任を負う部分があるということをご承知おきください。

(4) 出願手続

願書提出に際しては次の書類が必要となります。

- ・入学願書……都立高校の願書は中学校で配布します（例外はP4参照）。

必要事項を書き込んで写真を貼り、校長先生の印をもらいます。また、入学考査料（全日制2,200円 定時制単位制950円）を金融機関に払い込んで、その領収書を裏面に貼ります。

- ・調査書……… 中学校での成績や活動の記録を記載したもので、中学校の先生が作成し、封筒に入れて厳封して渡します。生徒や保護者が開封してしまうと出願できません。調査書に記載された内容については、別途通知します。

- ・自己PRカード

…… 入学を希望する理由（その学校に入学したい理由と入学してから自分が取り組みたいと思うことなど）、中学校生活の中で得たこと（中学校生活の中で自分が特に伝えたいことを学校内外で体験したことから選び、そこから自分が得たことについて具体的に記入）、高校卒業後の進路（将来の夢や目標、なりたい職業などについて自分が考えていることを具体的に記入）を本人が自筆で記入します。入学を希望する理由は、各高校が示している「本校の期待する生徒の姿」が参考になります。自己PRカードに記入した内容は、面接で参考にされたり、選抜の資料として利用されたりします。

- ・推薦書……… 中学校の先生が作成し、中学校長が確認して押印します。

以上の書類を高校に提出し、「受検票」をもらいます。その「受検票」を持って面接・実技検査等を受けます。

(5) 選抜の方法

- ・調査書における必修教科の「観点別学習状況の評価」（通知表でABCで表記されている部分と同様）または「評定」（5段階評定、9教科）のどちらか一つを「調査書点」として点数化します。
- ・「観点別学習状況の評価」を「調査書点」として点数化する学校の場合には、各高校で決めた方法によって点数化して資料とします。以下、（例）

国語					社会				数学				理科				音楽				美術			
I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用	知識・理解	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解	関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	知識・理解	関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	表現の技能	鑑賞の能力	関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
A	A	B	B	A	A	A	B	A	B	C	B	B	A	B	B	A	B	B	A	A	B	A	B	C
5	5	3	3	5	5	5	3	5	3	1	3	3	5	3	3	5	3	3	5	5	3	5	3	1

* 例えば、Aを5点、Bを3点、Cを1点として点数化します。どの教科のどの観点を重視するかは、高校によって違います。

- ・面接の結果も面接点として点数化されます。また、小論文や作文、実技検査を実施する高校では、これらの結果も点数化されます。
- ・面接の中で、「パーソナル・プレゼンテーション」と呼ばれる形式を実施する高校があります。これは、与えられた時間の中でスピーチをしたり特技を披露したりして、自分をアピールするものです。また、面接の中で「英語による問答」を実施する高校もあります。
- ・各高校がどのような選抜方法を実施するか、どのような点数配分をするかは、「入学者選抜実施方法一覧」として公表されますので、参考にして下さい。

(6) 文化・スポーツ等特別推薦

平成16年度入試から、文化・スポーツの分野で卓越した能力を持つ生徒について、従来の推薦枠の中に特別枠を設ける、「文化・スポーツ等特別推薦」が始まりました。

これは、実施する高校があらかじめ募集する分野、推薦の基準、定員、入学後の目標等を発表し、自己PRカードや面接・実技等によって選抜するものです。しかし、定員は非常に少なく、推薦の基準もかなり高度な内容になっています。

この「特別推薦」を受けるには、願書や自己PRカードのほかに、「文化・スポーツ等特別推薦書」と、活動の実績等を証明する書類等の写しが必要となります。※今年度は不要

また、同じ高校で、この「特別推薦」と「一般推薦」を同時に受検することができます。この場合は、願書と自己PRカードは1部のみ提出ですが、入学考査料は2回分になるので、願書の裏には2,200円の領収書を2枚貼ることになります。

(例) 各校の詳しい内容は、担任にお尋ねください。11月に配付される募集案内にも掲載されます。

高校名	種目等	定員	特別推薦の基準	実技検査
豊多摩	剣道	男女2名	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の学業と部活動を両立し、かつ生徒の模範となりリーダーシップをとれる者。 ・運動能力に優れ、東京都大会にレギュラーとして出場経験がある者。 ・入学後3年間剣道部に所属し継続して活動する強い意志を有する者。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本（切り返し、仕掛け技、応じ技） ・互角稽古
	硬式野球	男2名	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の学業と部活動を両立し、かつ生徒の模範となりリーダーシップをとれる者。 ・野球技術、運動能力に優れ、入学後3年間野球部に所属し、継続して活動する強い意志を有する者。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動能力テスト 50m走 ハンドボール投げ 反復横跳び ・基本技能テスト キャッチボール
	ラグビー	男2名	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の学業と部活動を両立し、かつ生徒の模範となりリーダーシップをとれる者。 ・ラグビー技術、運動能力に優れ、入学後3年間ラグビー部に所属し継続して活動する強い意志を有する者。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動能力テスト 50m走 ハンドボール投げ 反復横跳び ・基本技能テスト パス・キック・1対1コタ外

(7) 注意点

- ・推薦で合格した場合は、他の都立高校、私立・国立高校を受験することは一切できません。
- ・推薦受検を希望した場合、中学校に「推薦に関する誓約書」の提出をお願い致します。
- ・例年、都立の推薦入試は大変な高倍率となっています。残念ながら不合格だった場合の手だてを慎重に考えておく必要があります。
- ・推薦で不合格になっても、一般入試（学力検査に基づく選抜）で同じ高校を受検することができます。推薦で不合格でも、一般入試（学力検査に基づく選抜）で合格するケースは多く、高校側も自分の学校への進学意欲が高い生徒ととらえて歓迎しています。
- ・推薦書は受験者が志望校まで取りに行く必要があります。

4 学力検査に基づく選抜(第一次募集・分割前期募集)

(1) 日程

事 項	日 時					
出 願	※今年度変更 令和3年1月29日(金)から2月4日(木)まで 郵送(上記出願受付期間に、都立高校が指定する郵便局に必着(郵便局留)により受付)					
志願変更	再提出		全日 制	定時制		
	取下げ			定時制単位制		
				チャレンジスクール 一橋、浅草、荻窪、 砂川、八王子拓真	新宿山吹、六郷工科、 飛鳥、東久留米総合、 板橋有徳、青梅総合	定時制 単位制 以外
	全日制		○	×	×	×
	定時制	定時制 単位制	チャレンジスクール 一橋、浅草、荻窪、 砂川、八王子拓真	○	○	×
新宿山吹、六郷工科、 飛鳥、東久留米総合、 板橋有徳、青梅総合			×	×	×	×
定時制単位制以外		×	×	×	×	
取下げ	令和3年2月12日(金)		午前9時～午後3時			
願書再提出	令和3年2月15日(月)		午前9時～正午			
学力検査	令和3年2月21日(日)		集合 午前8時30分			
実技検査・ 面接	令和3年2月21日(日)以後、各都立高校が定める日時					
合格発表	※今年度変更 令和3年3月2日(火)		全日制	午前8時30分(HP掲載) 午前9時30分(校内掲示)		
			定時制	午前8時30分(HP掲載) 午後4時(校内掲示)		
合格者入学 手続	令和3年3月2日(火)		全日制	午前9時30分～午後3時30分		
			定時制	午後4時～午後8時		
	令和3年3月3日(水)		全日制	午前9時～正午		
			定時制	午後4時～午後8時		

(2) 出願手続

ア 出願に必要な書類は次の通りです。

- ・ 入学願書 (推薦と同様) 入学考査料2,200円(定時制950円)の領収証書を裏面に添付
- ・ 調査書 (推薦と同様)
- ・ 自己PRカード(面接を実施する学校など一部)

イ 志望する高校内に2コースもしくは2部以上、または同一の学科内に2科以上ある場合は、すべてのコースや部、科に志望順位をつけて出願することが出来ます。

ウ 願書提出後、1回に限り志願を変更することが出来ます。ただし、願書を一度取り下げた高校には再提出できないなどの規定があります。

(3) 学力検査等 ※今年度変更

	開始時間～終了時間	時間	実施教科
集 合	午前 8 : 3 0		
第1時限	午前 9 : 0 0～午前 9 : 5 0	5 0分	国 語
第2時限	午前10 : 2 0～午前11 : 1 0	5 0分	数 学
第3時限	午前11 : 4 0～午後 0 : 3 0	5 0分	英 語
第4時限	午後 1 : 3 0～午後 2 : 2 0	5 0分	社 会
第5時限	午後 2 : 5 0～午後 3 : 4 0	5 0分	理 科

* 英語の最初の10分間にリスニングテストを実施します。

* 3教科で実施する高校は第3時限までで、その後面接等になります。

* 学力検査を行わない高校では、面接等の時間割について別に定められます。

* 国際高校と、学力検査を行わない高校の時間割は別に定められます。

(4) 選考方法

選考は、調査書、学力検査の成績、自己PRカード、面接(小論文や作文、実技検査を実施する場合はその結果)を総合した成績(「総合成績」と呼びます)と、入学願書による志望および都立高校長が必要とする資料に基づいて行います。

① 調査書点(換算内申点)の算出方法

調査書の「各教科の学習の記録」には、9教科について、中学校3年次前期および後期の12月31日までの総合成績を5段階で評定した数値が記載されます。これが、いわゆる「内申点」と呼ばれるものです。都立高校では、この調査書の成績を後述する算出方法によって換算し、「調査書点」(換算内申点)として、選抜資料に用います。

ただし、コース制や特色のある高校では、調査書の特定の教科の成績に重みを付けて、傾斜配点にする場合もあります。

* 「調査書」の5段階評定は「中学校3年次前期および後期の12月31日までの総合成績」であり、前期の通知表の評定とも後期に出る通知表の学年評定とも違います。「調査書」の評定については保護者宛に1月に「調査書記載事項通知書」で通知いたします。

5教科入試の場合

	学力検査あり					学力検査なし					合計		
教科	国語	数学	英語	社会	理科	小計	音楽	美術	保健	技体	技家	小計	65
満点	5	5	5	5	5	25	(5+5+5+5)	×2				40	

3教科入試の場合

	学力検査あり			学力検査なし							合計		
教科	国語	数学	英語	小計	社会	理科	音楽	美術	保健	技体	技家	小計	75
満点	5	5	5	15	(5+5+5+5+5+5)	×2						60	

注：小数点以下は切り捨てです。

② 「総合得点」の算出方法

学力検査の得点は、5教科なら500点満点です。この「学力検査の得点」と、前述の「調査書点」（換算内申点）を合計したものを「総合得点」と呼びます。

「総合得点」は、各高校で決めた「学力検査の得点」と「調査書点」との割合に基づいて1,000点満点となるように、再び換算されます。「学力検査の得点」と「調査書点」との割合については、全日制課程の第一次募集・分割前期募集では、原則として、7：3、分割後期募集・第二次募集では、原則、6：4になります(ただし、芸術及び体育に関する学科については、これに当てはまらない場合があります)。また、定時制課程の第一次募集・分割前期募集では、原則として、7：3又は6：4のどちらかを各高校が定め、分割後期募集・第二次募集では、原則、6：4になります。計算方法は下記の通りです。

◎ 7：3の場合

学力検査点500点満点を700点に換算 $(\text{自分の得点}) \div 500 \times 700$	調査書点65点満点を300点に換算 $\text{自分の調査書点} \div 65 \times 300$
---	--

◎ 6：4の場合

学力検査点500点満点を600点に換算 $(\text{自分の得点}) \div 500 \times 600$	調査書点65点満点を400点に換算 $\text{自分の調査書点} \div 65 \times 400$
---	--

* 傾斜配点がある場合は、その計算をした後の得点を総合成績の1000点満点に換算します。

(3教科で英語が2倍の時は400点満点等)

③ 最終的な「総合成績」の算出方法

上記で算出した「総合得点」に加え、面接、作文、実技などの得点を加えたものが「総合成績」です。この「総合成績」によって、最終的に合否が決定されることになります。

ア 学力検査だけで、面接や作文、実技等を実施しない高校

総 合 成 績
学力検査点+調査書点 (総合得点) 合計 1000点

イ 学力検査に加えて面接や作文等を実施する高校

総 合 成 績		
学力検査点+調査書点 (総合得点) 合計 1000点	面接点・作文点 高校で決めた点	実技検査点 高校で決めた点

*ただし、エンカレッジスクールおよびチャレンジスクールでは学力検査は行わず、面接等その他の資料によって合否を決定する。

(6) 選考に関わるその他の条件

①男女別定員制の緩和

高校の募集定員は男女別に定められますが、募集定員の9割までは男女別に合格を決定し、残りの1割は男女関係なく、成績の高い順に合格させる方法です。この方法により、男女のバランスは少し崩れる可能性があります。より成績の高い生徒を合格させることができます(普通科のみ)。

【実施校】

三田、向丘、日本橋、東、深川、大崎、目黒、田園調布、雪谷、桜町、千歳丘、深沢、松原、広尾、鷺宮、武蔵丘、杉並、豊島、文京、大山、井草、練馬、青井、足立新田、江北、淵江、葛飾野、南葛飾、葛西南、江戸川、小岩、多摩、府中東、拝島、神代、小平、日野、武蔵村山、永山、羽村

②学力検査問題のグループ作成

都立の学力検査の問題は、基本的にはどの高校でも共通した問題で実施しますが、中にはその高校独自で作成した問題を実施する高校があります。一昨年度より、国数英の3教科のみが下記の3つのグループごとに共同で作成した問題となり、社会と理科は共通問題で実施します。また、全日制の第二次募集ではグループや自校作成問題はありません。

【実施校】

進学指導重点校： 日比谷、戸山、青山、西、八王子東、立川、国立

進学重視型単位制高校：新宿、墨田川、国分寺、

*昨年度まで実施していた併設型中高一貫教育校は、今年度から全教科共通問題により実施する。

(白鷗高校、両国高校、大泉高校)

*国際高校は英語のみ自校作成問題です。また、一部の定時制でも独自に作成した問題となります。

②分割募集の実施

一般入試の募集人員を分割し、第一次募集期間における募集(分割前期募集)と第二次募集期間における募集(分割後期募集)の2回に分けて募集を行います。※下線はエンカレッジスクール

【実施校】

普通科：日本橋、八潮、田園調布、深沢、竹台、大山、田柄、青井、足立新田、淵江、南葛飾、蒲田
足立東、府中東、山崎、羽村、東村山、秋留台

コース制：田柄（外国文化）

専門学科：中野工業（キャリア技術科）、練馬工業（キャリア技術科）、野津田（体育）

定時制：〔昼夜間三部制普通科〕一橋、浅草、荻窪、八王子拓真（一般枠）、砂川

⑤その他

以下のような事情のある場合、所定の手続や書類を提出することによって特別な措置が講じられることがあります。詳しくは進路担当者までお問い合わせください。

- ・欠席の日数が多く、欠席の事情を説明する必要がある場合（本人の自由意志による「自己申告書」提出）
- ・保護者と同居しない場合、あるいは保護者以外の身元引受人がいる場合（「具申書」提出）
- ・病気、けが、障害などにより、学力検査に特別な措置を必要とする場合

（7）高等専門学校について

東京都立産業技術高等専門学校（工業高専と航空高専が統合）の運営は、平成20年度から公立大学法人首都大学東京へ移管されました。問い合わせ等の窓口はそちらになります。

東京都立産業技術高等専門学校は、一般入試の日程が違いますので注意してください（推薦入試の日程は他の都立高校と同じですが、入試日は1月27(水)となります。）。

願書提出：令和3年1月 29日（金）から 2月 4日（木）まで
学力検査：令和3年2月16日（火） 国数英の3教科 集合8時30分
合格発表：令和3年2月19日（金） 午前9時
入学手続：令和3年2月19日（金） 午前9時～午後3時
20日（木） 午前9時～正午

願書提出は他の都立高校と同じ日程ですので、高専と他の都立高校との両方に願書を出すことができます。学力検査が高専の方が早いので、高専に不合格だった場合は願書を出してあった都立高校を受検することができますが、高専に合格した場合は受検できません。

5 学力検査に基づく選抜（分割後期募集および第二次募集）

(1) 日程

分割後期募集・全日制第二次募集日程

事 項		日	時
出 願		令和3年3月 5日(金)	午前9時～午後3時
志 願 変 更	願書取下げ	令和3年3月 8日(月)	午前9時～午後3時
	願書再提出	令和3年3月 9日(火)	午前9時～正午
学力検査		令和3年3月 10日(水)	集合 午前8時30分
実技検査・面接		令和3年3月 10日(水) 以後、各都立高校が定める日時	
合格者の発表		令和3年3月16日(火)	正午
合格者入学手続		令和3年3月16日(火) 令和3年3月17日(水)	正午 ～午後3時 午前9時～正午

定時制第二次募集日程

事 項		日	時
出 願		令和3年3月23日(火)	午後3時～午後7時
学力検査		令和3年3月26日(金)	集合 各都立高校が定める時刻
合格者の発表		令和3年3月29日(月)	午後3時
合格者入学手続		令和3年3月29日(月) 令和3年3月30日(火)	午後3時～午後7時 午後3時～午後7時

(2) 受検できる高等学校

東京都全域の高等学校を受検できます（分割後期募集および第二次募集も学区は関係ありません）。

ここで「分割後期募集」とは、あらかじめ前期と後期との2回に分けて募集を行う場合の後期の募集のことを指します。これに対して「二次募集」とは、一次募集で定員に満たなかった場合に足りない人数だけを募集することを指します。したがって、「分割後期募集」を行う高校は事前にわかっていますが、二次募集を行う高校は一次の入学者が決定するまでわからないということになります。

また、推薦に基づく選抜及び第一次選抜において、手続きの如何にかかわらず、合格した者は、受検することはできません。

(3) 選考方法等について

選考方法については一次募集にほぼ準じますが、学力検査は国数英の3教科となり、定時制課程では必ず面接を実施します。また、学校によっては作文や実技を実施するところもあります。

(4) 注意点

分割後期募集および第二次募集は、定員が極端に少ないところに大勢の志望者が殺到するので、例年大変な高倍率となっています。特に二次募集はこの高校が行うかわからないので、最初から二次募集をあてにするわけにはいきません。都立を志望する人は、そこまでよく考えて、第一次募集で受検する高校を選ぶことが大切です。

6 デュアルシステム科について

平成16年度に開校した六郷工科高校にデュアルシステム科があります。また、葛西工業高校及び多摩工業高校で平成30年度にデュアルシステム科を開校しました。この科は、企業と学校が連携し、高校生が企業で長期の就業訓練を行ない、就業した部分を単位認定していくというシステムをとります。この科への入学については、一般の都立高校とは別に実施要綱が定められていますので、お問い合わせください。

7 定時制課程単位制高校について

定時制単位制高校の入学選抜についても、別途実施要綱が定められています。ここで言う定時制単位制高校とは、次の高校を指します。

- ・一橋高校（普通科3部制・昼夜間定時制）
- ・浅草高校（普通科3部制・昼夜間定時制）
- ・荻窪高校（普通科3部制・昼夜間定時制）
- ・八王子拓真高校（普通科3部制・昼夜間定時制）
- ・砂川高校定時制課程（普通科3部制・昼夜間定時制）
- ・新宿山吹高校定時制課程（普通科4部制・情報科2・4部・昼夜間定時制）
- ・六郷工科高校定時制課程（普通科・生産工学科・昼夜間定時制）
- ・飛鳥高校定時制課程（普通科）
- ・板橋有徳（普通科）
- ・六本木高校（総合学科3部制・チャレンジスクール）
- ・大江戸高校（総合学科3部制・チャレンジスクール）
- ・世田谷泉高校（総合学科3部制・チャレンジスクール）
- ・稔ヶ丘高校（総合学科3部制・チャレンジスクール）
- ・桐ヶ丘高校（総合学科3部制・チャレンジスクール）
- ・八王子拓真高校（普通科2部制・チャレンジ枠）
- ・青梅総合高校（総合学科）
- ・東久留米総合（総合学科）

このうち、六本木高校・大江戸高校・世田谷泉高校・稔ヶ丘高校・桐ヶ丘高校の5校は「チャレンジスクール（定時制課程単位制総合学科の高校を指す）」と呼び、出願の際に、調査書を提出せず、自己PRカードの代わりに「志願申告書」を提出するなど、他の都立高校とは違う点があります。また、一般入試でも学力検査は実施せず、面接と作文で入学者選抜を行います。（八王子拓真高校のチャレンジ枠も同様です。）

定時制単位制高校の受検を検討する場合には、先生とよく相談するとともに、それぞれの高校の特色や内容、入試の方法や手続について、十分調べることが必要です。

8 都立国際高校の国際バカロレアコースについて

平成27年4月に国際高校に設置された国際バカロレアコースは、海外の大学への進学を目指すための教育プログラムです。今年度も、下記の通り入学者選抜が実施されます。

○検査日 令和3年1月26日(火)、27日(水)

○検査内容 英語運用能力検査、学力検査(数学)、小論文、個人面接

9 インフルエンザ等学校感染症罹患者に対する追検査

第一次募集検査当日に、インフルエンザ等に罹患した者、学校保健安全法第19条により中学校長に出席停止の措置を行った者又は新型コロナウイルス感染症への感染が疑われる者で、第一次募集で出願した都立高校を受検することができなかった者のうち、希望する者に対してインフルエンザ等学校感染症罹患者に対する追検査の措置を行う。

なお、追検査は第一次募集を実施する都立高校（全日制課程及び定時制課程）において実施する。分割募集を実施する都立高校においては、追検査を実施しない。

*追検査の措置を希望する者は、中学校長を経由して、令和3年2月22日（月）午後5時までにインフルエンザ等学校感染症罹患者に対する措置申請書により第一次募集において出願した都立高校に申請する。

(1) 日程

事 項	日	時
出 願	令和3年3月5日(金)	午前9時～午後3時
学力検査	令和3年3月10日(水)	集合 午前8時30分
合格者の発表	令和3年3月16日(火)	正午
合格者入学手続	令和3年3月16日(火) 令和3年3月17日(水)	正午～午後3時 午前9時～正午

(2) 出願・選考方法等について

出願に関しては、第一次募集と異なる。※

選考方法については一次募集にはほぼ準じますが、学力検査は国数英の3教科となり、各教科100点満点とする。また、追検査で使用する検査問題（共通問題）は、分割後期募集・全日制第二次募集で使用する検査問題（共通問題）と同一のものとする。

また、学力検査以外の検査の実施は、面接、小論文、作文、実技検査から各都立高校が定めた方法により実施する。

検査会場は、東京都教職員研修センター又は、東京都立川合同庁舎とする。

10 都立入試の注意事項

現在、都立高校は多様化・個別化が進み、それに伴って入試の形式もそれぞれの高校によって異なります。志望校の入試の内容や点数配分をよく理解して、準備する必要があります。主な注意点を以下に示しますので、志望校の該当項目には必ず目を通しておきましょう。

〈推薦入試〉

- ・推薦の割合（定員の何%を推薦でとるか）
- ・調査書点は、「観点別学習状況の評価」を使うのか「9教科の評定」を使うのか
- ・面接点の占める割合
- ・「本校の期待する生徒の姿」をもとに、自己PRカードや面接などの準備
- ・小論文や作文、実技検査の有無と、それぞれの満点

〈一般入試〉

- ・学力検査と調査書点の割合（7：3、6：4など）
- ・学力検査は5教科か3教科か
- ・グループ作成問題があるか
- ・傾斜配点があるかどうか
- ・「本校の期待する生徒の姿」をもとに、自己PRカードの準備
- ・分割募集をするかどうか
- ・男女枠緩和を実施するかどうか
- ・面接や作文、実技試験の有無とその満点

* 都立高校と入学者選抜に関する詳しい情報を調べるには

都立高校について調べるには、東京都教育委員会のホームページ（<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>）が便利です。「都立高校検索サイト」や「都立学校ホームページ」を利用してください。

Ⅲ 私立高等学校入学者選抜について

私立高校は入試のシステム、日程、手続、必要書類などについて、それぞれの高校独自に行っています。私立高校を受験しようと思う場合は、必ずその高校の入試説明会等に参加し、十分な準備をしてください。

東京都内の私立高校では、9月から10月にかけて、平成29年度入試の募集要項や学校案内、入学願書などが袋に入ったセットが、各私立高校の窓口で販売され始めます。高校を見てくるよい機会ですから、各自で新しいものを購入してきてください。

東京の私立高校について調べるには、東京私立中学高等学校協会のホームページ「東京私学ドットコム」(<http://www.tokyoshigaku.com/>)が便利です。各学校のホームページにリンクされています。その他、会場テストを主催している業者のホームページにもさまざまな入試情報が載っています。

1 推薦入試

その私立高校を第一志望とし、推薦条件を全て満たしている場合に、推薦入試という方法があります。

(1) 推薦入試の日程（東京都）

12月15日（日）以降	入試相談（中学校の先生と私立高校の先生との相談）
1月15日（金）以降	出願
1月22日（金）以降	推薦入試・発表・手続

(2) 推薦基準

私立の推薦は都立とは違い、非常に細かく具体的な推薦基準があります。その推薦基準をすべて満たしていなければ、推薦受験をすることはできません。

- 【ある私立高校の例】
- ア. その私立高等学校を第一志望とする者
 - イ. 出身中学校長が推薦する者
 - ウ. 心身ともに健全で、かつ生活指導上問題のない者
 - エ. 以下の推薦基準に該当する者
 - 3科合計9以上かつ5科合計15以上、または9科合計28以上の者
 - 3年間の欠席が5日以内、遅刻回数が10回以内の者※
 - オ. 上記のア～エの条件をすべて満たす者

*私立高校の場合は、調査書の評定を「素点」（各教科の数値を合計したもの。都立のように2倍などの計算をしたものは「換算内申」と言います）で計算しますので注意してください。

(3) 入試相談

推薦入試の希望がはっきりし、中学校として責任持って推薦できると認められた生徒については、12月15日から始まる教員対象の入試相談で、中学校の先生が私立高校に書類を持参し、推薦入試について相談をします。私立高校では上記の「推薦基準」のほかにも、さまざまな観点（英検などの資格、部活動や学校、地域での活動、特技等）をもっているのです。そこが「相談」となるわけです。この入試相談を通さないと推薦入試は受けられないという高校がほとんどです。

この時の相談で、私立高校側から推薦の合格の可能性（確約はしません）が述べられます。

(4) 選考について

高校によって方法は違いますが、一般的には学力試験は行わず、中学校長の推薦書と調査書、面接、作文、その他実技などによって選考が行われます。推薦による合格者は、募集人員全体の50%までとなっています。また、推薦入試で不合格になっても一般入試で再び受験することができます。

(5) 注意点

推薦で合格した場合には他の高校を受験することはできません。また、都立推薦同様、合格者は中学校が責任を持って推薦した人物であるということですから、その自覚が必要となります。たとえ合格しても、その後の生活や勉強に問題が生じると、合格が取り消されるということもあります。

このため、都立同様、推薦受験を希望する場合は、中学校長に「推薦に関する誓約書」の提出をお願いします。

2 併願優遇

併願優遇とは、都立高校を第一希望としているが、そこが不合格だった場合に備えて特定の私立高校に優遇してもらう手続きをしておくことを言います。第一希望は都立でも、私立としてはその高校以外の私立は受験しないということになるので、一般入試よりかなり条件がよくなります。日程としても私立入試が先にあるので気持ちに余裕を持って都立の試験に臨めるというメリットがあります。

ただし、一般的には、都立高校が不合格だった場合には都立の二次募集は受検できず、また他の私立高校も受験できないので慎重に考える必要があります。都立一本では不安な場合、また私立の一般入試も不安な場合等には有効だと思われませんが、併願優遇のメリットとデメリットをよく考えて検討してください。高校によっては、都立高校との併願だけでなく、他の私立高校との併願を認めているケースもありますので、詳しいことは、個々の学校の制度をよく調べてください。

(1) 併願優遇入試相談

併願優遇の場合も、推薦と同じ12月15日からの入試相談を行います。つまり、併願優遇を希望する場合は、この時点で受験する私立高校を決定しておかなければなりません。推薦と同様、この時の相談で、私立高校側から併願優遇の合格の可能性が述べられます。

(2) 併願優遇基準

推薦と違って他の高校に行く可能性があるため、併願優遇の基準については推薦よりも高い基準を設定している高校がほとんどです。この基準を満たさなければ併願優遇はできません。

(3) 選考について

併願優遇は推薦とは違い、一般入試と同じように学力試験、面接等を行います。試験日程も一般試験と同じで、一般受験者の中に混じって受験します。併願優遇はあくまで「優遇」であって、合格を完全に約束するものではありませんが、前もって併願優遇基準を満たしており、高校側に了承を得ているため、よほどのことがないかぎり合格できると考えられます。

(4) 注意点

併願優遇も推薦の一種なので、心構えは推薦と同じです。中学校への誓約書もあります。また、併願優遇はふつう第一志望が都立高校の場合ですが、他の私立高校を第一志望としてもよいという高校もあります。ただし、併願優遇はすべての私立高校にあるわけではなく、併願優遇という制度そのものを実施していない私立高校もたくさんありますので、気をつけてください。

3 一般入試

(1) 日程（都内の私立高校の場合）

1月25日（月）以降 出願
2月10日（水）以降 一般入試・発表・手続

(2) 選考方法

学力検査（国・数・英の3科が多いが、高校によって違う）、※面接、調査書等を総合的に判断して合否を決めます。

* 都立高校の願書は中学校で配布しますが、私立高校の願書等は各自で購入します。学校見学等をしてしながら用意してください。また高校によって用紙、様式、必要書類が違いますので、必ず確認し、準備してください。

(3) 注意点

私立一般入試の合格手続については、都立の合格発表まで入学金の納入等を延期してくれる学校もあります。この場合、「入学手続延期願」とか「入学時納入金延納願」というような書類を提出して所定の手続をとることが必要になります。各高校によって方法が異なるので、よく確かめてください。

IV 国立高等学校について

都内には一般募集を行っている国立大学の附属高校が6校あります。有名大学への進学率が高く、設備・学費の面でも恵まれています。入試は毎年高倍率の激戦で合格には相当高い学力が必要です。附属高校と言っても上の大学への入学特典はありません。

V 高校進学以外の進路について

1 専修・各種学校

工業・調理・理容・服飾・家庭など、特定の職業や生活に役立つ技術を身につける学校です。中卒者が入学できる専修学校は1～3年制の高等課程です。3年制高等課程の中には、一定の資格をとりながら、大学受験資格が与えられたり、通信制高校と提携し、高校卒業資格が取れたりするところもあります。

高等専修学校の入学選考方法は、学校によって異なり、国語や数学、英語などの学科試験を行うところもあれば、書類審査や面接だけのところもあります。出願は11月頃から始まります。募集を数度にわたって行う学校もありますが、早いうちの方が合格しやすいようです。また、高等学校との併願を認める学校もあります。

2 都立高等職業技術専門校

職業に必要な知識と技能を身につけることを目的としています。1年間専門分野だけを学びます。中学新卒者対象の推薦選考と一般人を含めた一般選考があります。推薦選考の方が入りやすいでしょう。

選考は、書類及び面接選考の結果に基づき合格者を決定します。（ただし、電気工事科及び自動車整備科は簡単な数学のテストを行う。）なお、職業適性検査はあらかじめ中学校で実施し、その結果を調査書に記入することになっています。

授業料、実習教材費等は無料で、1年コースと2年コースに通う人には、通学定期、学割が適用されます。また、訓練終了者には、職業安定所を通じて就職の斡旋もしてくれます。希望者は、中学校を通して、もよりの高等技術専門校か職業安定所へ申込みます。

3 企業内学校

日野工業高等学園のように、企業内学校として中卒者を対象に企業に関する専門知識・技能を学ばせ、卒業すると社員として採用されるところがあります。

4 就職

中学3年生の就職選考は次のスケジュールで決めていきます。

11月 職業安定所からの求人一覧表をもとに、家族や担任等と相談して希望する事業所について検討。

12月 希望の就職先を決め、応募書類を提出。

1月 採用試験を受ける。

就職先を決める際には、担任や担当の先生とよく相談して、必ず職業安定所を通すようにしましょう。職業安定所は、学校と連絡をとり、本人・保護者と面接して就職の相談をすることが法律で決められていて、給与面などの採用条件をめぐるトラブルを防いでもらえます。万が一トラブルが起こっても解決してくれます。

*就職を希望する人は、早目に担任に申し出てください。

VI 資料編

1 都立高校の出願についての注意事項

(東京都立高等学校等入学者選抜実施要綱・同細目より抜粋)

東京都立高等学校入学者選抜実施要綱の細目

第 1 出願書類についての注意事項等

第1-1 入学願書等の記入方法

- (1) 入学願書は、裏面に印刷された「入学願書記入上の注意」に従って記入する。
- (2) 入学願書に記入する氏名等の文字は、住民票に記載されているものを使用する。ただし、住民票に記載されている文字が常用漢字表外字の文字である場合、その文字を常用漢字で代用しても差し支えないが、入学願書、受検票、調査書及び氏名記載のある成績一覧表（以下「原簿」という。）の表記は統一すること。

(例 澤一沢、 邊一辺)

外国籍を有する志願者も、住民票に記載されている氏名（以下「本名」という。）を入学願書の志願者氏名欄に記入することとなるが、住民票に通称名が表示されており、受検票に通称名のみ記載を希望する者は、入学願書の志願者氏名欄、調査書の氏名欄及び原簿の氏名欄には、本名の後ろに（ ）を付して通称名を記入する。その場合は、受検票の受検者氏名欄には、入学願書に併記した通称名のみ記入で差し支えない。

なお、都内の里親又は小規模住居児童養育事業（ファミリーホーム事業）委託生徒で通称名（里親の姓）による出願を希望する志願者は、入学願書、受検票、調査書及び原簿の氏名欄には、通称名（里親の姓）を記入する。その場合は、出願時に「措置通知書」の写しを提出すること。

(例1) 外国籍を有する志願者の場合の入学願書の志願者氏名欄			
フリガナ	アイシャ アリ	性別	
氏名	AISHA ALI	女	
(例2) 外国籍を有する志願者（漢字併記）の場合の入学願書の志願者氏名欄			
フリガナ	チャン アイ ピン	性別	
氏名	ZHANG AI PING 張 愛 平	男	
(例3) 外国籍を有する志願者で、本人が通称名の使用を希望する場合の記載例			
(1) 入学願書の志願者氏名欄（本名と通称名を併記。両方にフリガナを振る。）			
フリガナ	チャン アイ ピン (トウキョウ タロウ)	性別	
氏名	ZHANG AI PING (東京 太郎)	男	
	└──────────┘ └──────────┘		
	本 名	通 称 名	
(2) 受検票の受検者氏名欄（通称名のみで可）			
フリガナ	トウキョウ タロウ		
受検者氏名	東京 太郎		
	└──────────┘		
	通 称 名		
(3) 報告書の学籍の記録・児童氏名欄（本名と通称名を併記。両方にフリガナを振る。）			
フリガナ	チャン アイ ピン (トウキョウ タロウ)		
児童氏名	ZHANG AI PING (東京 太郎)		
	└──────────┘ └──────────┘		
	本 名	通 称 名	

- (3) 保護者氏名欄には、保護者（本人に対し親権を行う者であって、原則として父母、父母のどちらかがいない場合は父又は母のどちらか一方、親権を行う者が死別等でいない場合は後見人をいう。以下「保護者」という。）の氏名を記入する。保護者が父母である場合、父又は母の氏名（父、母のどちらでもよい。）を記入する。

なお、保護者と別居して出願を認められた者についても、原則として保護者の氏名を記入するが、行方不明又は外国等の遠隔地居住などのため記入できない場合は、次のア又はイの氏名の記入を認める。

ア 実際に養育している成人のおじ、おば、祖父母、兄弟、知人等

- イ 職員を海外に派遣する等の目的で企業内に設けられた寮等に居住（入居）している場合は、その施設の長
- (4) 都内の中学校を卒業する見込みの者で、東京都立高等学校入学者選抜における検査結果を、在籍する学校における進路指導や学習指導に活用するために、都立高校から在籍する学校へ提供することに同意する場合は、出願ごとに、入学願書の個人情報の提供に関する同意署名欄に志願者本人が自署した上で、志願する都立高校の校長に提出する。

第1-2 自己PRカード及び志願申告書等の記入

自己PRカード（様式12）は、志願者本人による記入を原則とするが、事故や病気、障害等により志願者本人による記入が困難な場合は、保護者等による記入を認めるものとする。その際、自己PRカードの下端に、その理由及び記入者と志願者との関係を明示する。

なお、志願申告書及び自己申告書についても同様とする。

第1-3 自己申告書の提出

調査書に記載された欠席日数について、欠席の事情を説明する必要がある場合など、都立高校に理解してほしい事情を説明する必要がある場合、志願者は、自己申告書（様式13）を志願する都立高校の校長に提出することができる。

なお、自己申告書は、志願者及び保護者が記入し、厳封して入学願書等の出願書類とともに志願する都立高校の校長に提出する。

第1-4 具申書の提出

(1) 具申書について

ア 東京都立高等学校入学者選抜実施要綱第1-3-1(3)及び第2-3-1②<全日制を志願する者>(1)に該当する者で、保護者と同居していない場合に提出する。

イ 提出方法

(ア) 具申書（様式14）は、申請者が2部作成し、在学している中学校の校長に提出する。

(イ) 中学校の校長は、受理した具申書の内容が事実であると認めたときは、校長証明欄に氏名を記入し公印を押印の上、申請者に1部を交付し、他の1部は中学校で保管する。

(ウ) 申請者は、中学校の校長が証明した具申書を入学願書に添えて直接提出する。

(2) 都内の里親又は小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム事業）委託生徒は、具申書に代えて「措置通知書」の写しを提出する。

(3) 児童福祉施設に入所している東京都の措置児童は、具申書に代えて、当該児童福祉施設の長からの「意見書」を提出する。

第1-5 入学考査料の納付方法

推薦に基づく選抜から通信制第一次募集までの入学考査料は、所定の納付書（都立高校全日制受検用、都立高校定時制受検用、都立高校通信制受検用）により、納付書裏面に記載された納付場所に納付する。

なお、入学考査料を納付するに当たっては、次のことに留意する。

(1) 納付書は所定の用紙を使用する（コピーしたものは使用できない。）。

(2) 納付書の金額を訂正したり、前年度以前の納付書を使用したりしない。

(3) 納付書の※欄は、必ず記入してから納付する。

(4) 納付期限は、それぞれの入学願書受付日の最終日とする。

(5) 一旦納付された入学考査料は還付しないので、入学考査料は、都立高校への志望が確実になってから納付すること。

また、志願先の高校の入学考査料の金額を十分確認の上納付すること。

(6) 出願ごとに入学考査料を納付する。ただし、取下げ後の再提出時は必要ない。

(7) 指定された納付場所とは次に掲げるものをいう。

ア 都内に店舗のある銀行・信託銀行・信用金庫・信用組合などで、都の公金を収納する金融機関（「都の公金収納取扱店」の掲示のある店舗）

イ 都内のゆうちょ銀行の営業所及び郵便局、又は関東（山梨県を含む。）に所在するゆうちょ銀行の営業所及び郵便局

(8) 定時制課程及び通信制課程志願者で、営業時間終了等で金融機関に納付できない場合は、入学願書提出の際に志願する都立高校の窓口において、現金で納付する。

第1-6 諸用紙類の配布

入学願書等入学者選抜に関する諸用紙類は、令和2年12月1日（火）までに区市町村教育委員会に配布する。

国際バカロレアコース（国際高校）、定時制課程単位制高校のうち、チャレンジスクール、一橋高校、浅草高校、新宿山吹高校、荻窪高校、通信制課程の高校及び海外帰国生徒等の入学者選抜を行う高校の入学願書等については、各都立高校が印刷し配布するため、志願する都立高校に連絡して、必要書類を取り寄せること。

調査書

2 調査書の記入例

(注) ①字句を訂正したときは、公印を用いてその旨を明らかにする。
 ②※印の欄には記入しない。

成績一覧表の番号	121	成績一覧表の提出の有無 (該当を○で囲む。)	有・無
フリガナ	シンジュク タロウ	性別	男
氏名	新宿 太郎	転入学等	転入学
生年月日	平成17年 12月 6日生	卒業・卒業見込	卒業
※受検番号	文化スポーツ等 特別推薦	コース・科(分野)・部	文化スポーツ等 特別推薦
	一般選抜 (変更後)		一般選抜 (変更後)

学籍の記録	入学年月	編入学	出席しなければならぬ日数	159	海外帰国生徒対象等の併願 (該当番号を○で囲む。)
	平成17年 3月	中学校から転学	欠席日数	0	1 海外帰国生徒対象 2 引揚生徒対象 3 在京外国人生徒対象 4 都立産業技術高等専門学校

教科	各教科の学習の記録										総合的な学習の時間内容及び評価
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語(英語)	外国語(英語)	
観点別学習状況	国語への関心・意欲・態度	社会的思考・判断・表現	数学への関心・意欲・態度	自然現象への関心・意欲・態度	音楽への関心・意欲・態度	美術への関心・意欲・態度	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	生活や技術への関心・意欲・態度	外国語理解の能力	外国語表現の能力	総合的な学習の時間内容及び評価
評価	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	課題を「地域の未来を考える」と設定し、住みよい地域社会づくりの視点から資料収集・調査活動等を行い、地域の方々を招いて成果を発表した。課題を発見する能力、分かりやすくまとめる能力、発表での表現力が向上した。
評定	4	5	5	5	4	3	4	5	5	5	

諸活動の記録

- 図書委員として「図書だより」の作成を担当(第3学年)
- 文化祭の学級演劇で衣装係を担当(第2学年)
- テニス部員として区大会新人戦で3位入賞(第1学年)
- 高齢者福祉施設を訪問(第1学年～第2学年)

記載事項に相違ありません。

令和3年 1月 15日 記載者氏名 有楽 町子
 [学校所在地] 新橋区西新橋2-8-1 [電話番号] 03(5320)6745

[学校名] シンジュクチャウカワ 校長 名 東京 花子
 新宿区立新宿中央中学校

[学校番号] 304250

私印 公印

(注意)学校名にのみフリガナを付ける。[学校番号]は、都内の公立学校のみ記入する。
 [学校番号]は、東京都立高等学校入学選抜実施要綱別表10を参照すること。

(様式4)

令和3年度 東京都立高等学校入学願書

東京都立 西新宿 高等学校長 殿

貴校への入学を志願します。

[全一次・分割前期
定一次共通様式]

出 願 区 分

令和3年度 都立高等学校受検票

[全一次・分割前期
定一次共通様式]

志望校(第1志望)	変更前 西新宿 普通	変更後 西新宿 普通
志願者	フリガナ シンジウ タロウ 氏名 新宿太郎 生年月日 平成17年 8月 8日 15歳 住所 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 在学中 新宿区立 新宿中央 中学校 卒業年月 令和3年 3月 (卒業見込) 卒業	フリガナ シンジウ タロウ 受検者氏名 新宿太郎 在学中 新宿区立 新宿中央 中学校 検査会場名 検査会場名
保護者	フリガナ シンジウ タロウ 保護者氏名 新宿太郎 住所 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 卒業年月 令和3年 3月 (卒業見込) 卒業	フリガナ シンジウ タロウ 受検者氏名 新宿太郎 在学中 新宿区立 新宿中央 中学校 検査会場名 検査会場名

男子のみ点線部分に沿って左上端を切り取ること。

検査会場が入学願書受付高校と異なる場合には、各高校が志願者に通知する。

全一次・分割前期	全一次・分割前期
定一次	定一次
成人受検者特別措置希望(定時制)	成人受検者特別措置希望(定時制)
ルビ振込等特別措置希望	ルビ振込等特別措置希望

写真
正面上半身脱帽
(4cm×3cm)

令和2年12月1日以降に撮影したものに限り、白黒どちらでも可

1 検査日時及び時間割

- 令和3年2月21日(日) 午前8時30分集合
- (1) 時間割 (定時制成人受検者特別措置の受検者を除く。)
- 第1時間 国語 午前9時00分～午前11時10分
 - 第2時間 数学 午前10時20分～午後0時30分
 - 第3時間 英語 午前11時40分～午後2時20分
 - 第4時間 社会 午後1時30分～午後3時40分
 - 第5時間 理科 午後2時50分～午後4時0分
- 検査教科が3教科の高校では、学力検査の終了時刻が異なる場合がある。
- ・実技検査及び面接等を行う場合は、各高校が集合時刻及び時間割を志願者に通知する。
- ・定時制成人受検者特別措置の受検者及び学力検査問題を自校で作成する定時制の受検者については、各高校が集合時刻及び時間割を志願者に通知する。

2 合格発表日時

- 全日制 令和3年3月2日(火) 午前8時30分(ホームページ掲載)
午前9時30分(校内掲示)
- 定時制 令和3年3月2日(火) 午前8時30分(ホームページ掲載)
午後4時(校内掲示)

※この受検票は、合格通知書を受領する時及び得点等の開示を請求する時に必要なのでなくさないこと。

保護者氏名 新宿春子 印
志願者との続柄 母
令和3年 1月 30日
志願者 新宿中央 立 新宿中央 中学校長 東京花子 公印
令和3年 1月 31日
上記の者は貴校に応募する資格があることを確認しました。

志願者は、高等学校、高等専門学校に在学していません。また、現在、都立高等学校、都立産業技術高等専門学校に合格していません。
なお、事実上反する記載によって入学したと認められた場合は、入学を取り消されても異存ありません。

(電話) 03(5320)6745 (電話) 03(5320)6755

4 合格通知書

(様式22) (A4判)

受検番号

合格通知書

氏 名

あなたは、令和3年度東京都立高等学校入学者選抜において合格し、本校 課程
コース
科(分野) の第1学年の入学許可予定者となりましたので通知します。
部

については、次の期間内に入学確約書(様式23)を提出してください。

令和3年 月 日 () 時から 時まで

令和3年 月 日 () 時から 時まで

なお、入学料については、下記の納付期限内に所定の納付書により、納付書裏面に記載の納付場所
等で納入してください。

入学料納付期限 令和3年 月 日 ()

令和3年 月 日

東京都立

高等学校長

公印

- (注意) 1 上記指定期間内に入学確約書を提出しない場合は、合格を放棄したものとみなします。
なお、入学料の納付がない場合、入学確約書は無効となります。
- 2 学校が必要とするその他の書類を所定の期間内に提出しなければなりません。
- 3 都立高等学校の選抜に合格したので、今後の都立高等学校入学者選抜への出願・受検は
できません。

5 入学確約書

(様式23) (A4判)

入学料番号

入 学 確 約 書

このたび、令和3年度東京都立高等学校入学者選抜において合格し、貴校 _____ 課程
_____ コース
科(分野) _____ の入学許可予定者になった旨の通知を受けました。
部 _____

ついては、必ず貴校に入学すること及び入学料を納付期限内に納付することを、本人及び保護者連署の上、確約します。

入学料納付期限 令和3年 月 日 ()

年 月 日

東京都立 _____ 高等学校長 殿

受 検 番 号 _____

中 学 校 名 _____

本 人 { 住 所 _____
氏 名 _____

保 護 者 { 住 所 _____
氏 名 _____ 印

電 話 _____

なお、貴校に入学するに当たり、授業料及び入学料の納付については「東京都立学校の授業料等徴収条例」を遵守します。

6 学力検査等得点表・学力検査における答案の開示請求書

(様式 19) (A4判)

学力検査等得点表・学力検査における答案の開示請求書

開示請求日 年 月 日

東京都立 _____ 高等学校長 殿

令和3年度東京都立高等学校入学選抜における次の書類を、開示請求します。

請求者	氏名	受検者との続柄		
	連絡先(電話番号)			
受検者	受検番号 (請求する書類の受検区分の受検番号)			
	受検者氏名			
	在学(出身)中学校名	立	学校	年 月 卒業見込 卒業
請求の内容	受検区分 (請求する書類の受検区分を一つ選択してください。)	<input type="checkbox"/> 推薦(一般) <input type="checkbox"/> 推薦(特別) <input type="checkbox"/> 一次・分割前期 <input type="checkbox"/> 分割後期・二次 <input type="checkbox"/> その他()		
	請求する書類 (必要な書類を選択してください。)	<input type="checkbox"/> 学力検査等得点表 <input type="checkbox"/> 答案の写し (<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 理科)		

学力検査等得点表・学力検査における答案の開示請求受付簿兼交付決定簿

学校記入欄	請求受付日	年 月 日
	本人確認(*)	<input type="checkbox"/> 受検票 <input type="checkbox"/> 身分証明書 <input type="checkbox"/> その他()

* 保護者が請求する際には、当該受検者の受検票と保護者の本人確認ができるもの(身分証明書等)の両方の提示が必要です。

本件について、 学力検査等得点表 ・ 答案の写し を交付する。

処理経過	施行(交付年月日)	年 月 日	校長	副校長	経営企画課(室)長	教務主任	受付者
	決定	年 月 日					
	施行予定	年 月 日					
	起案	年 月 日					

キ リ ト リ

学力検査等得点表・学力検査における答案の開示請求受付票

受検番号 _____	受 付 者 _____
請求者氏名 _____ 様	請求受付日 年 月 日
	交 付 日 年 月 日以後
	交 付 期 限 年 月 日

請求の内容	受検区分	<input type="checkbox"/> 推薦(一般) <input type="checkbox"/> 推薦(特別) <input type="checkbox"/> 一次・分割前期 <input type="checkbox"/> 分割後期・二次 <input type="checkbox"/> その他()
	請求のあった書類	<input type="checkbox"/> 学力検査等得点表 <input type="checkbox"/> 答案の写し (<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 理科)

* 一つの受検区分につき、本請求書1枚を提出してください。

* 請求者は、開示請求日、高等学校名及び太枠内を記入してください。また、該当する□内にレ印を記入してください。

上記のとおり、開示請求を受け付けました。

なお、請求した資料の交付までに時間を要するため、請求当日に交付できないことがありますので、あらかじめ御承知おきください。

指定された交付日以後に、この開示請求受付票と本人確認できるもの(受検票や身分証明書(生徒証等)など)を提示して、本校経営企画室窓口で請求した資料を受領してください。ただし、保護者が受領する場合は、受検票、保護者の本人確認ができるもの(身分証明書等)及び受検者と保護者との関係を証明するもの(住民票の写しなど)を提示してください。

* 交付期限までに受け取りに来なかった場合、請求は無効となります。